

令和6年度 学校評価報告書

1 教育目標

- (1) 基本的な生活習慣を身につけ、健康な生活を送るための心と体の基礎をつくる。
- (2) たしかな学力と豊かな教養を身につけ、ゆるやかな協働性の中で自律して学び続け、それぞれの目標達成に向けて意欲的に取り組む姿勢を養う。
- (3) ものづくりを通して技術・技能の基礎・基本を習得し、多様な人と学び合い、夢中で探究し、課題解決に向けて自ら学び続ける態度を身につける。
- (4) ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事を通じて、自他を尊重し、協働によって粘り強く対話する力を育てる。

2 本年度の努力点

学校教育の努力点	特に大切にしたい要素					
	I	II	III	IV	V	VI
基礎的・基本的な知識・技能を習得するための学習やより高度な内容の学習、実用的な資格取得のための学習に、自分に合ったペースや方法で学び、多様な人と学び合い、夢中で探究する姿勢の育成に努める。			○			○

3 評価結果の概要

対象	項目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
学習指導	○基礎的・基本的な学習内容の定着化	○第1学年に学校設定科目「生活教養」、および「工業情報数理」を習熟度別で実施	○第1学年に3班編制の習熟度別学習を行うことで、きめ細やかな指導と学びに向かう姿勢を育成することができた。学び直しやつまづきやすい所を重点的に学習し、基礎学力の定着を図ることができた。
	○基本的な技術・技能を身につけた、工業人の育成	○きめ細かな指導をするために、少人数で編制した班で実習を実施	○ものづくりの楽しさや作品完成の感動を実感し、自分に合ったペースや方法で自ら進んで学ぶことができた。特に、4年生では総合的な探究の時間（本校では課題研究）において、防災・減災の探究活動や製作した鉢をデイサービスセンターに寄贈するなど、多様な人との関わりの中で学びを深めることができた。
生徒指導	○自他の生命や存在を尊重する態度の育成	○ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事の充実や自己理解をテーマにした保健講話の開催	○校外学習や学校祭等の学校行事を充実させ、生徒の自他を尊重し、協働する力を育むことができた結果、生徒の「学校生活が楽しい」という評価も上昇している。また、12月にスクールカウンセラーによる「自分との付き合い方」についての講話を実施し、自分自身の感情との向き合い方や、自分で自分を認めることの大切さについて学ぶ機会とした。今後も、生徒の自尊感情や、自他を尊重する態度を高める取り組みを行っていく。
	○基本的な生活習慣の確立	○全職員の共通理解と生徒の多様性に対応した指導	○全職員が生徒一人ひとりに対するきめ細やかな指導を継続することで、多くの生徒が前向きに学校生活を送ることができ、学校全体が落ち着いた状況にある。
進路指導	○進路目標の確立と実現に向けての指導	○キャリア教育の充実	○今年度よりキャリアタイムを設け、1～3年生には「社会保険労務士から労働に関する法律を学ぶ」、「ドローン出前授業」、4年生には「就職活動並みの受験の入試に向けた書類等の書き方指導」という内容でキャリア観を育む活動を行った。今後もキャリアナビゲーターとの協働を図っていきたい。
	○確実な進路指導	○「キャリアパスポート」の活用	○担任による「キャリアパスポート」を活用したキャリア教育と各学年に対する進路指導の充実を図ることができた。

4 アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

実施状況	評価結果の公表
5月 生徒生活実態調査実施	6月 PTA総会において報告
7月 学校生活に関するアンケート①	11月 学校評議員会において報告
12月 学校生活に関するアンケート②	2月 名古屋市立高等学校定時制教育振興会実態調査委員会で定時制の生徒調査の分析結果を報告
2月 学校評価アンケート	2～3月 校務分掌自己評価
3月 学校生活に関するアンケート③	3月 ホームページに評価報告書を掲載